

文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」認定

女子栄養大学大学院「履修証明プログラム」

健康寿命延伸のための食環境整備に関わる高度人材養成プログラム

健康寿命延伸に係る食品・食事の提供と、それらを有効に活用するための健康・栄養情報の提供に関わる高度人材養成を目的とし、平成28年度9月より、大学院履修証明プログラムを開設しております！

「健康寿命の延伸」は日本社会の喫緊の課題です。現在、日本人の食料消費の約8割は加工品と外食が占めます。したがって、超高齢社会において、健康寿命を延伸し、在宅介護を実現するには、外食や中食でも健康に資する商品選択ができる環境を整え、同時に商品選択のための情報提供を積極的に行う必要があります。

管理栄養士・栄養士、および該当分野企業の方（専門職以外）、食環境整備に関わる行政職の方々を対象とする、女子栄養大学大学院ならではのプログラムです。ぜひ一度、ホームページをご覧ください。

対象 管理栄養士、栄養士を主な対象職種とするが、該当分野企業の方、食環境整備に関わる行政職なども受入れ可能。

教育課程 栄養学の最新知識を学ぶ科目群（6科目）、組織マネジメントを学ぶ科目群（4科目）、応用力を修得するための演習（1科目）から構成。詳細は大学院HPを。

担当講師 女子栄養大学大学院教授である 武見ゆかり、上西一弘、石田裕美、田中明、堀江修一と、健康経営、フードサービスマネジメント、在宅医療等の現場で実績のある実務家教員がコラボ。

開講期間と場所 令和元年9月より6ヶ月間（詳細は追ってHPに掲載）、坂戸及び駒込キャンパスにて開講。土曜・夜間開講あり。

受講料 15万円（受講料のほか、登録料3万円がかかります。）

特典：本プログラム受講後に、本学大学院の修士課程に入学した場合、一部の単位を大学院正規課程修了に必要な単位として認定することが可能。